

この紙のゴール：相手がもう特定できるかで a と the を選び、数えない名詞に -s をつけない

学び直しから始めるクラス 偏差値のめやす ～40程度 この版は a / the / 無冠詞の見分けと、数えない名詞までを扱います

気づき AとB、同じ場面の続きの2文。1文目は a、2文目は the。書き手は何を考えて入れかえた？ (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	I saw a small dog in the park.	公園で小さな犬を見かけた。
B	The dog was wearing a red scarf.	その犬は赤いマフラーをしていた。

決めているのは読み手の頭の中に、それがもうあるかどうかです。Aの時点では、読み手はその犬を知りません—だから「1匹の犬がいてね」と差し出す a。Bを読むころには、読み手はもうどの犬のことか分かっている—だから the。冠詞は名詞の飾りではなく、相手に向けた合図です。だから同じ名詞でも、場面が変われば冠詞は変わります。

整理 4つの判断 (相手ににとってどう見えているか)

形	作り方	表すこと	例文
a / an	a + 数えられる名詞の単数	相手ににとって初めて出てくる1つ	I saw a dog near the gate. 門の近くで犬を見かけた。
the	the + 名詞 (単数も複数も)	相手ももう特定できる	The dog had a red collar. その犬は赤い首輪をしていた。
無冠詞	複数形・数えない名詞・慣用	種類ぜんたい・目的を言う	Dogs are loyal animals. 犬は忠実な動物だ。
数えない名詞	information / advice / homework など	数えるなら a piece of of	He gave me a piece of advice. 彼は助言を1つくれた。

手順はひとつだけ—「これ、相手にはもう分かる？」と自分に聞く。まだ分からないものは a、もう分かるものは the、種類ぜんたいの話や数えないものは無冠詞。1回出したものは、次からは相手も分かるので the になります。もうひとつの約束が information / advice / homework は数えないこと。-s も a もつかず、数えたいときは a piece of という器を借ります。同じ名詞でも She broke a glass. (コップ) と The window is made of glass. (ガラス) のように、1つ、2つと切り出せる形で見ているかで変わります。

確認 () 内から正しいほうを選ぼう。 知識・技能

- (1) There is (a / the) new bakery near my house.
- (2) I bought a new bag last week. (Some / The) bag was made in Italy.
- (3) He sent me plenty of useful (information / informations) before the interview.
- (4) She gave me one useful piece of (advices / advice) .

確認の解答

(1)	a	聞き手はまだその店を知らないのでa。There is ... は「あるものを差し出す」言い方なので the とは相性が悪い。
(2)	The	1文目でもう出てきたので、読み手はどのかばんか分かっている。だから2文目は the。
(3)	information	information は数えない名詞。-s はつかず、a もつかない。数えるなら a piece of information。
(4)	advice	advice も数えない。数えたいときは a piece of advice の形を借りる。

つまずき② 初めて出すものに the をつける

the は「読み手ももう特定できる」という合図です。まだ知らない→a／もう分かる→theを、書きながら1回ずつ判断してください。

× Yesterday I met the girl from Australia at the station. → ○ Yesterday I met a girl from Australia at the station.
その子の話は初めてなので a。駅は相手も分かる「いつもの駅」なので the でよい。同じ文でも判断は名詞ごと。

つまずき① 数えない名詞に -s や a をつける

information / advice / homework / furniture は数えません。日本語で「助言を2つ」と数えられるのに引かれて壊れます。数えるときは a piece of を借ります。

× The teacher gave us many advices about our homeworks. → ○ The teacher gave us a lot of advice about our homework.
advice も homework も数えない。many は数えるもの用なので a lot of / much に替える。

授業のひとつ

止まる原因は文法ではなくそもそも冠詞を判断していないことです。最初の2問は「この名詞、相手はもう知ってる？」を声に出して全員で答えてから選ばせてください。判断さえ始まれば、正答率は一気に上がります。